

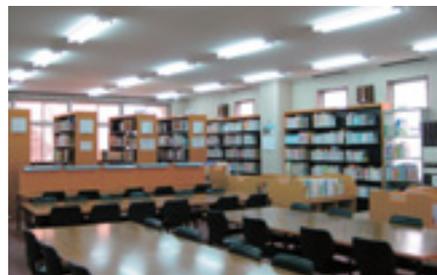
発行—2010年8月31日

<http://gdtk.lib.gunma-u.ac.jp>

編集—群馬県大学図書館協議会「会報」編集委員会 前橋市荒牧町4-2 (群馬大学総合情報メディアセンター内) TEL.027-220-7178



Kanto Junior College 関東短期大学



CONTENTS

- 平成21年度第2回大学図書館研究会報告 ————— 2
- 新人紹介 ————— 6
- トピックス・編集後記 ————— 7
- 群馬県大学図書館協議会加盟館（平成22年度） ——— 8

平成21年度第2回

群馬県大学図書館協議会 大学図書館研究会・群馬県図書館協会
専門研修 テーマ「図書館業務のアウトソーシングについて」

開催日：平成22年3月10日（水） 場所：放送大学群馬学習センター

参加者：30名（大学図書館 16名、公共図書館 14名）

今回は、テーマとして「図書館業務のアウトソーシングについて」を取り上げ、アウトソーシングについては多くの実績がある（株）紀伊國屋書店・ライブラリーサービス営業部・藤則幸男氏に講演をお願いした。「図書館業務のアウトソーシング」については、ここ数年、指定管理者制度とともに図書館関連雑誌でも特集記事として組まれることも多いが、経費削減、業務効率化の名のもとに、外部（アウト）の資源（ソース）を活用する動きの実際はどうかと言うと、「平成21年度学術情報基盤実態調査結果報告」（文部化科学省研究振興局情報課 平成22年6月）によると、全面委託・部分委託を含め、78%の大学図書館が実施しているとの報告が出されている。前年度の同報告と比較すると、全面委託については「45館・3.2% → 62館・4.3%」、部分委託については「1,023館・72.0% → 1,070館・73.9%」と、共に着実な増加傾向が見て取れる。

国立大学法人に限って言えば、内閣府公共サー

ビス改革推進室から、「国立大学法人における施設の管理・運營業務及び図書館運營業務の経営改善の取組の推進」について、「図書館運営も民間委託すべき業務を切り分けて民間委託すべき」との指摘もあり、きちんとした対応を迫られている状況にある。

また、県下でも群馬県立女子大学附属図書館、前橋市立図書館分館が今年度から図書館業務の外部委託を始めたが、こうした状況から、今後も県内外の動向を注意深く見守っていく必要がある。

以下に、「平成21年度学術情報基盤実態調査結果報告」より＜大学図書館「外部委託」の実施状況＞、「参加者からの声」及び研究会で配布された講師のレジュメを掲載する。

また、外部委託とは直接関係ないが、参考として、同実態調査の結果報告（概要）から、外部委託を除いた調査結果の主なポイントも載せる。



放送大学群馬学習センター



講演中の藤則氏

＜ 大学図書館「外部委託」の実施状況 ＞

「平成21年度学術情報基盤実態調査結果報告」より

(文部科学省研究振興局情報課 平成22年6月)

1. 「全面委託」 / 「部分委託」の実施率

設置別 (対象数)	全面委託		部分委託	
	大学数 (館)	実施率 (%)	大学数 (館)	実施率 (%)
国立大学 (86)	0	0.0	224	76.2
公立大学 (77)	3	2.3	108	82.4
私立大学 (597)	59	5.8	738	72.1
合計 (760)	62	4.3	1,070	73.9

2. 「部分委託」の場合の対象業務内容

※下段 () 内の数字は実施総数に占める割合 (%)

設置別 (実施総数)	2次情報 DB化	1次情報 DB化	電算機の 管理	複写	製本	受付 閲覧	清掃	警備	その他
国立大学 (224)	25 (11.2)	11 (4.9)	25 (11.2)	20 (8.9)	149 (66.5)	36 (16.1)	185 (82.6)	136 (60.7)	41 (18.3)
公立大学 (108)	23 (21.3)	3 (2.8)	24 (22.2)	8 (7.4)	44 (40.7)	26 (24.1)	85 (78.7)	66 (61.1)	26 (24.1)
私立大学 (738)	264 (35.8)	50 (6.8)	239 (32.4)	115 (15.6)	469 (63.6)	228 (30.9)	524 (71.0)	402 (54.5)	102 (13.8)
合計 (1,070)	312 (29.2)	64 (6.0)	288 (26.9)	143 (13.4)	662 (61.9)	290 (27.1)	794 (74.2)	604 (56.4)	169 (15.8)

参考) 平成21年度「学術情報基盤実態調査」の結果報告 (概要)

◎調査結果の主なポイント 《大学図書館編》

- 1 図書館資料費の総額はほぼ横ばい傾向だが、図書館運営費の総額は減少傾向が継続している。
- 2 電子ジャーナルの総利用可能種類数は増加傾向だが、一方で、洋雑誌の総購入種類数は減少傾向が継続している。
- 3 機関リポジトリの構築 (公開) 大学数は着実に増加し、それに伴い、コンテンツ数及び利用状況 (アクセス数、ダウンロード数) も大幅に増加している。また、1大学あたりの利用状況も大幅に増加している。
- 4 組織・人事面の課題として、「専門性を有する人材の養成・確保」を、設備面において、「資料所蔵スペース狭隘化の解消」を、多くの大学図書館が課題として認識している。

< 参加者からの声 >

※ 当日実施したアンケート結果より

- ・ 図書館職員制度の日米比較（格差）が興味深かった。
- ・ わたくしは公共図書館の職員ですが、委託の話ではありましたが、図書館職員として今何をしなければならないか、また、職員としての地位に安穩としていたのではないかと考えさせられました。

先行、当館も業務委託となるのでしょうか、それまでは、市民に頼られる図書館職員として勤務に取り組みたいと思いました。図書館は変わる、そして図書館は変わらないと思いつつ。
- ・ 図書館の内部を知っている外部の方のお話は刺激になりました。
- ・ 近い将来、本図書館は指定管理者制度を検討すると思います。その意味では大学図書館の事例が主ではありますがとても参考になりました。
- ・ 図書館の現状について、業者サイドから見た各種の案件について示していただき大変参考になりました。直接図書業務を行っている者ではありませんが、きびしい現状を少しは理解できました。
- ・ とてもためになる情報を聞くことができたと思う。
- ・ アウトソーシングについて、現状の課題、問題点が良く整理され参考になった。
- ・ 直接、現状の問題になっていませんが、アウトソーシングの状況や実状を知りたかったので参加しました。職員に必要なスキルなどは、職場に帰っても参考になった。
- ・ 直面した課題をテーマにいただき大変良かったです。
- ・ 業者目線での話も聞くことができ非常に参考になった。
- ・ 図書館職員の専門性について、改めて考えさせられました。今まで、自分の業務を振りかえり、司書としての価値を見直すことができたように思います。単に、コスト削減だけではなく、外に委託しなくても図書館員の向上やいろいろ考えることがあると思いました。難しいテーマではありますが、生のお話を聞くことができて良かったです。
- ・ 今まで、あまりアウトソーシングに関してなじみがなかったので、今回、明確な形や具体例でアウトソーシングの目的や現状等を知ることが出来、現実的にアウトソーシングをとらえられるようになったと思います。また、今日のように委託する側、される側の両方の立場から見た話を聞ける機会は大変貴重であり、将来的に見てとても参考になったと思います。
- ・ 改めて、図書館員のマネージメント（感覚）の必要性を感じた。
- ・ 民間委託についての具体的な傾向をお聞きし参考になりました。
- ・ 図書館業務のアウトソーシングについては、危機感を持っておりましたが、本講演で、さらに今後の図書館の方向、司書の今後に不安感を持つ同時に、自館の方向性をしっかりと考える必要を感じました。
- ・ 委託でお仕事されている方々の労働条件が気になった。
- ・ 司書の仕事について根本的なところから考えさせられた。
- ・ 改めて図書館職員の専門性とは何かを見直す機会にもなったと思います。いくつか挙げられていた図書館の現状（問題点）は、どれも当てはまるものばかりで、アウトソーシングの導入に関わらず、もう一度全体的に図書館の在り方を見直す必要があると思いました。
- ・ 「キンドル」の出現が、図書館界の危機とダブリ、業種は違っても生き残りという点で同じ問題を抱えていると思った。

図書館業務のアウトソーシングについて

株式会社紀伊國屋書店・ライブラリーサービス営業本部

藤則 幸男 (fujinori@kinokuniya.co.jp)

1 図書館委託増大の背景と現状

4年制私立大学の4割以上が赤字経営になっているという。経営的な見地から従来のように専任職員を定数配置して図書館を運営することはもはや難しくなっている。私立大学では以前から図書館運営の民間委託を行ってきており、全面委託の事例も出ている。公共図書館では指定管理者の導入で大学以上に民間活力を活かした運営が一般的になりつつある。今や図書館運営において委託は経営上の戦略手段となっており、その現状把握を行う。

2 アウトソーシングの定義と目的

派遣と委託の違いなどアウトソーシングとは何かを整理する。委託する業者の種類と特長、現在の業者選定方法について現状報告する。委託する上においては何の業務を対象にすべきか明確にし、委託仕様書をまとめていく必要があるが、現在の仕様書は委託する業務対象、業務件数、閲覧であれば対応人数、時間帯など「量」を主に明示しているものが多く、委託業務のレベル「質」を明確に委託業者との間で取り交わす例はまだ少ない。委託のメリットと課題を整理しながら、適切な委託のあり方について考えていく。

3 事例紹介（部分委託から全面委託）

大学図書館の委託は、図書の整理や製本などを中心に以前から行われてきたが、委託範囲は徐々に広がり、収書、閲覧、雑誌、レファレンスなどに及び、更には専任職員の配置を必要最低限に抑えて、予算管理まで含めていわゆる「全面委託」を志向する大学も出てきている。公共図書館では指定管理者やPFIで全面的な民間委託が大学以上に普及している。

段階的な委託化や全面委託を行う場合の課題などについて考えていく。

4 委託業者としての運営方法

委託業者としては、単に決められた業務を行うだけでなく、改善・提案型の積極的な取り組みを行う業務遂行上のパートナーとして役割が期待されている。委託開始までの準備と委託開始後の業務の進め方、業者としてのノウハウを紹介する。委託期間は1年契約が主流であり、成果が出なければ契約継続も難しくなる。図書館は委託を担当するスタッフにとって司書資格を持っていても安定的な職種とは言えなくなっている。多くのスタッフを抱える委託業者として取り組むべき課題は尽きない。その現状を報告する。

5 図書館員の専門性と委託の課題

図書館は大学の心臓と言われており、高度な学術情報を扱い、電子化が急激に進む時代にあって図書館員に求められているスキルも非常に高くなっている。委託化が進めば、本来職員に求められるスキルは委託スタッフに求められることになっていく。学習支援・教育支援を支える委託側としてどう専門性を維持向上させていくのか、委託する側と受託する側双方が考えていかねばならない大きな課題である。図書館員制度の日米の格差も参考にしながら、これからの図書館を誰が主役で運営していくのか、図書館はどこに向かっていくのか問題提議し考えていく。

新人紹介

◆大学図書館に勤務して◆

高崎健康福祉大学図書館

川崎 真実

4月から高崎健康福祉大学図書館で働かせていただいております、川崎真実と申します。

好きな仕事に就けた喜びと同時に、自分の知識不足をひしひしと感じています。初めは、今まで私が全く関わることのなかった分野が中心の大学のため、戸惑いや不安はとても大きかったです。学生時代に大学図書館でアルバイトをしており、司書の仕事を間近で見て、とても大変な仕事であるというのは覚悟しておりましたが、実際に春から司書として働いて、利用者の要求に的確に応えることの難しさや、やるべきことの多さに目を回していました。仕事のスピードも遅く、ミスも多く、「何とかしなくちゃ」と、とても焦っており、自分に割り振られた仕事以外に目を向ける余裕も全くありませんでした。

現在は、先輩方の温かいご指導のもと、ようやく仕事に慣れてきました。質問ばかりの私に優しく丁寧に教えてくださり、本当にありがたく、周りにも少し目を向けることができるようになったと思います。身近に感じる図書館、使いやすい図書館とはどのようなものなのかを考えながら仕事をしています。利用者からの質問にもなんとか答えられるようになってきましたが、図書館に関する専門的な知識だけでなく、各学部・学科に関する知識も全然足りず、頭の中をクエスチョンマークが飛び交うことも少なくありません。利用者が知りたいことは何なのか、それを上手に聞き出すにはどうすれば良いのか、利用者の目線に立って考えるためにはどうしたらいいのかなど、図書館業務の難しさを感じました。どのように配架すれば利用しやすいのか、どうすれば図書館からの情報はうまく利用者に伝わるのかなど、考えるべきことは多く大変だけれども、とても楽しく、やりがいを感じています。

図書館で働いていて特にうれしいと感じる瞬間は、利用者に「ありがとう」と言ってもらえたときです。少しでも役に立てたのかなと思うと、もっともっと頑張ろうという気になってきます。少しでも多くの利用者の役に立てるようになりたいと思います。

まだまだ勉強不足を痛感する日々ですが、先輩方をお手本とし、努力を惜しまず精進していきたいです。よろしくお願い致します。

◆大学図書館に配属になって◆

高崎経済大学附属図書館

青木 朋子

私は今年の4月に高崎経済大学附属図書館に配属になりました。

図書館に配属になるのは初めてですし、また、学校での業務も初めての経験なので、とまどうことが多くありますが、日々職場の方々に指導していただき、また、支えてもらいながら日々仕事に取り組んでいます。

私は、学生時代から現在に至るまであまり図書館を利用していなかったということもあり、図書館業務についてカウンター業務以外イメージできませんでした。

しかし、配属されてから入力や装備など様々な大事な業務が図書館にはあるということ、また、そういった業務をこなして行く上であらかじめ学んでおかなければならない基礎知識がたくさんあるということに気づかされました。

また、カウンター業務については、来館される方から図書資料について様々な質問を受けたり、また、図書館に対するご意見をいただくことで自分自身学ぶべき点や改善していかなければならない点に気づかされ、図書館業務の奥深さを感じています。

まだ未熟者ですが、これから専門知識を身につけ、利用者の方に気持ちよく利用していただくことができる図書館づくりの手助けができるよう学んで行きたいと思います。

◆新勤務地は大学の附属図書館◆

高崎経済大学附属図書館

齋藤 直子

昨年6月（旧）吉井町が高崎市と合併し、初めての定期異動となった今年4月、私は高崎経済大学附属図書館勤務となりました。

行政経験35年の中で図書館勤務経験ゼロ、更に徒歩通勤の毎日から車で40分の通勤となり、すべてが初めて経験することばかりでした。

通勤に不安を感じる以上に慣れない仕事は苦痛に近く、居場所が見つからない日々を過ごしました。しかし、不安を感じながらも4カ月が経過し、少しずつですが、学生の質問に答えたり、学生が探していた本をみつけたたりできるようになりました。それは本当に嬉しいことであり、周囲の人たちの支えだと心から感謝しています。

以前、親はなぜ必死になって子どもを大学に入れるのか疑問を持った時、友人から大学には三つ

貴重な出会いがあると聞いたことがあります。それは、師、友、本の三つであり、師は深く学問を学ぶため、友は友誼を深め真の友人得るため、そして本は幅広い知識や教養を身につけるための出会いだそうです。

今、そのことばを思い出し、大学図書館の役割は何なのか改めて考えてみました。大学図書館は、学生が学生生活を送るなかで、学問のための研究図書の本庫とすることはもちろんですが、知識や教養を学ぶための出会いづくりが大切な役割なのではないかと思いました。そんな、お手伝いが出来たらという思いを抱きながら私は高崎経済大学附属図書館に勤務しています。

◆大学図書館に赴任して◆

高崎経済大学附属図書館

高木 早苗

4月から高崎経済大学附属図書館事務室に勤務しています。私は今から30年ほど前に3年間この図書館に勤めていたことがあります。その頃の図

書館は、2階建てで今より小さく、学生も少なく閲覧等をする利用者が決まった人がほとんどで、顔見知りになるくらいで触れ合いもあつたような気がします。

今のようにコンピュータ化され、必要な本を検索し自分で探すのではなく、学生自身がカードケースから本を選び出し、タイトル、著者名、分類番号等を申し込み用紙に書き込んで窓口へ提出し、職員が書庫から持ってきて貸し出しをしていました。それだけを見ても隔世の感があります。

蔵書数も当時から比較するとかなり多くなり、そのほとんどが機械化されているわけですが、それだけに機械に慣れるとともによりスムーズに貸し出し等を行っていくことなど、事務改善を含めて取り組んでいきたいと思っています。

機械化することはスピーディーになり、利用する人にとって利便性の向上につながりますが、そのような中であってもやはり人と人のサービスを大切に、より利用しやすい図書館になるように心がけていきたいと思っています。

トピックス

群馬大学

師範学校当時の資料の移管

図書館本館では、教育学部同窓会より、書架（複式、7段、4連）1台の寄附を受けると共に、同窓会が保管する明治・大正・昭和に亘る師範学校時代の資料を同窓会に代わり、1階特殊資料室で管理・保存することとなりました。資料は千数百点に及び、学則類、当直日誌、入学宣誓書、出欠届、試験問題録、など庶務、学務、教務関係といった校務全般に関わるものです。また、卒業記念写真、運動会、学生生活のスナップ写真など当時を彷彿とさせる資料も多数移管されました。現在、少しずつではありますが整備作業をおこない、なるべく早い時期に目録を整備し利用に供せられたらと思っています。



書架に積まれた資料群
(特殊資料室)



群馬県女子師範学校同窓会
(明42年)



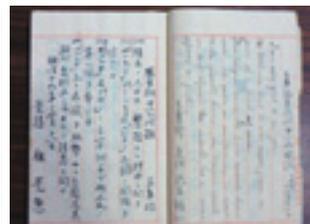
群馬県女子師範学校舎務日誌
(大5~7)



舎務日誌の内容



群馬県師範学校試験問題録
(明19年9月)



試験問題録の内容

編集後記

アウトソーシング・外部委託の問題は、研究会当日、お寄せいただいたアンケートからも、図書館員の皆さまが如何に危機感をもっていらっしゃる課題であるかが窺えます。「ピンチこそチャンス」ということもあります。こんな時こそ、自らの立ち位置をしっかりと確認し、図書館員とは、図書館サービスとは、改めて問い直す必要があるのかも知れません。協議会活動にも再考を。

群馬県大学図書館協議会加盟館（平成22年度）

(2010.4.1現在)

大学図書館名		住所	電話・FAX
1	育英短期大学図書館	〒370-0011 高崎市京目町 1656-1	Tel. 027-352-1981 Fax.027-353-8225
2	関東学園大学松平記念図書館	〒373-8515 太田市藤阿久町 200	Tel. 0276-32-7918 Fax.0276-31-4722
3	関東短期大学松平記念図書館	〒374-8555 館林市大谷町 625	Tel. 0276-74-6463 Fax.0276-74-6512
(幹) 4	桐生大学図書館	〒379-2392 みどり市笠懸町阿左美 606-7	Tel. 0277-48-9109 Fax.0277-76-9454
5	共愛学園前橋国際大学図書館	〒379-2192 前橋市小屋原町 1154-4	Tel. 027-266-9137 Fax.027-266-7576
6	群馬県立県民健康科学大学附属図書館	〒371-0052 前橋市上沖町 323-1	Tel. 027-235-9563 Fax.027-235-2501
(幹) 7	群馬県立女子大学附属図書館	〒370-1193 佐波郡玉村町大字上之手 1395-1	Tel. 0270-65-8511 Fax.0270-65-9538
8	群馬工業高等専門学校図書館	〒371-8530 前橋市鳥羽町 580	Tel. 027-254-9013 Fax.027-254-9013
(監) 9	群馬医療福祉大学図書館	〒371-0823 前橋市川曲町 191-1	Tel. 027-253-0294 Fax.027-254-0294
10	群馬松嶺福祉短期大学図書館	〒373-0813 太田市内ヶ島町 1361-4	Tel. 0276-30-2941 Fax.0276-45-4547
(常) 11	群馬大学総合情報メディアセンター図書館	〒371-8510 前橋市荒牧町 4-2	Tel. 027-220-7178 Fax.027-220-7184
	(// 医学分館)	〒371-8513 前橋市昭和町 3-39-22	Tel. 027-220-7885 Fax.027-220-7888
	(// 工学分館)	〒376-8516 桐生市天神町 1-5-1	Tel. 0277-30-1074 Fax.0277-30-1082
(幹) 12	群馬パース大学附属図書館	〒370-0006 高崎市問屋町 1-7-1	Tel. 027-388-0300 Fax.027-365-3367
(幹) 13	上武大学附属図書館	〒372-8588 伊勢崎市戸谷塚町 634-1	Tel. 0270-20-3144 Fax.0270-20-3144
	(// 分館)	〒370-1393 高崎市新町 270-1	Tel. 0274-42-1982 Fax.0274-42-1982
14	創造学園大学図書館 創造芸術学部	〒370-2131 高崎市吉井町岩崎 2229	Tel. 027-388-2301 Fax.027-388-2303
	(// ソーシャルワーク学部)	〒370-0861 高崎市八千代町 2-3-6	Tel. 027-328-6111 Fax.027-328-6231
15	高崎経済大学附属図書館	〒370-0801 高崎市上並榎町 1300	Tel. 027-344-6266 Fax.027-344-5857
16	高崎健康福祉大学図書館	〒370-0033 高崎市中大類町 37-1	Tel. 027-352-1290 Fax.027-353-2055
	(// 分館)	〒370-0033 高崎市中大類町 501	Tel. 027-352-1291 Fax.027-352-1985
	(// 薬学部図書・資料室)	〒370-0033 高崎市中大類町 60	Tel. 027-352-1180 Fax.027-352-1118
17	高崎商科大学図書館	〒370-1214 高崎市根小屋町 741	Tel. 027-347-3399 Fax.027-347-3389
18	東京福祉大学附属茶屋四郎次郎記念図書館	〒372-0831 伊勢崎市山王町 2020-1	Tel. 0270-20-3676 Fax.0270-20-3696
19	東洋大学附属図書館板倉図書館	〒374-0193 邑楽郡板倉町泉野 1-1-1	Tel. 0276-82-9060 Fax.0276-82-9804
20	新島学園短期大学附属図書館	〒370-0068 高崎市昭和町 53	Tel. 027-326-1155 Fax.027-324-1444
21	放送大学群馬学習センター図書室	〒371-0032 前橋市若宮町 1-13-2	Tel. 027-230-1085 Fax.027-230-1094
22	前橋工科大学附属図書館	〒371-0816 前橋市上佐鳥町 460-1	Tel. 027-265-0112 Fax.027-265-1963
23	明和学園短期大学図書館	〒371-0033 前橋市国領町 2-200-10	Tel. 027-235-1621 Fax.027-230-1083

常 = 常任幹事館 幹 = 幹事館 監 = 監査館